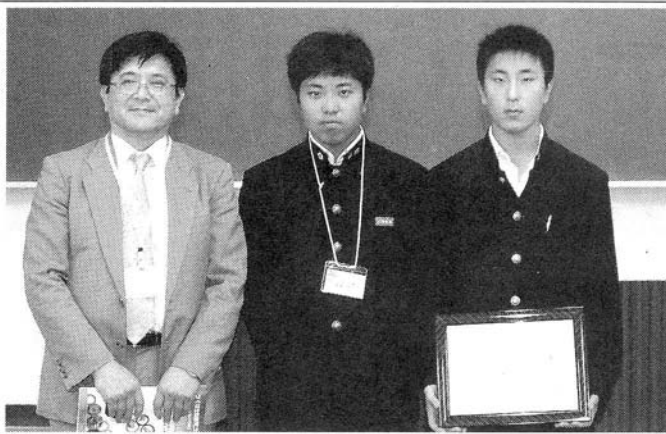


# 銅賞に輝く つくば生物 コンテスト カタツムリ研究 西湘高・湘光中の大津さん



賞状を示す拓紘さん(右)と将矢さん。左は国際生物学オリンピック2009組織実行委員長の沼田治筑波大学教授

筑波大学など主催の「つくば生物研究コンテスト」が24日、茨城県つくば市の同大学で開かれ、神奈川から参加した小田原市の県立西湘高校

2年の大津拓紘さん(16)、大井町立湘光中学校3年の大津将矢さん(14)の兄弟による、「カタツムリにおける天気と位置に関する研究」の発表が銅賞を受賞した。

同コンテストは、来夏に筑波大などを会場に開催予定の「第20回国際生物学オリンピック」のプレイベント。茨城を中心に、近隣の中学、高校から29校計166人が参加。神奈川からエントリーしたのは大井町

「カタツムリが木に登ると雨になる」をはじめ、生き物の行動と自然現象との関係を示す言い伝え

成をぶつけた。人は、「温度は気圧や湿度に影響し、湿度による影響が室内実験の結果として示された。天気は明るさ、気圧、温度、湿度など多くの変化を伴う現象で、それらを感じるカタツムリの行動は興味深い」と結論付けた。

審査員で東京大学教授の神崎亮平氏は「良いテーマ設定で着眼点も面白い」と、同じく筑波大講師の鈴木石根氏は「独創的な研究。解析が統計的だった」と講評した。2人の発表は見事、金、銀に続く銅賞に入賞した。

在住の大津さん兄弟と、横浜市内の県立高1校だった。参加者はアサガオの変異やゲンジボタルの成育と生存、ブルーギルの繁殖、環境学習などをテーマに、生物学研究をポスター形式で発表。縦はA4の4倍、横は同3倍の紙に研究内容をまとめ

た。カタツムリが木に登ると雨になる」をはじめ、生き物の行動と自然現象との関係を示す言い伝え

成をぶつけた。人は、「温度は気圧や湿度に影響し、湿度による影響が室内実験の結果として示された。天気は明るさ、気圧、温度、湿度など多くの変化を伴う現象で、それらを感じるカタツムリの行動は興味深い」と結論付けた。

審査員で東京大学教授の神崎亮平氏は「良いテーマ設定で着眼点も面白い」と、同じく筑波大講師の鈴木石根氏は「独創的な研究。解析が統計的だった」と講評した。2人の発表は見事、金、銀に続く銅賞に入賞した。

## 観察から天気との関係探る

オナジマイマイ、ウスカワマイマイ、ミスジマイマイの3種を用いた過去の研究に基づき、2人は、カタツムリの位置が気圧にどのように関係しているかを調べるため、今回は室内飼育の環境下で明るさ

オナジマイマイ、ウスカワマイマイ、ミスジマイマイの3種を用いた過去の研究に基づき、2人は、カタツムリの位置が気圧にどのように関係しているかを調べるため、今回は室内飼育の環境下で明るさ

オナジマイマイ、ウスカワマイマイ、ミスジマイマイの3種を用いた過去の研究に基づき、2人は、カタツムリの位置が気圧にどのように関係しているかを調べるため、今回は室内飼育の環境下で明るさ

オナジマイマイ、ウスカワマイマイ、ミスジマイマイの3種を用いた過去の研究に基づき、2人は、カタツムリの位置が気圧にどのように関係しているかを調べるため、今回は室内飼育の環境下で明るさ

オナジマイマイ、ウスカワマイマイ、ミスジマイマイの3種を用いた過去の研究に基づき、2人は、カタツムリの位置が気圧にどのように関係しているかを調べるため、今回は室内飼育の環境下で明るさ